

金剛地区の∞KON ROOMで

第2回サテライト設計室を

開催しました！

これまで市役所ロビーで開催してきたサテライト設計室。今回ははじめて市役所を飛び出して、金剛地区の金剛連絡所に隣接する∞KON ROOM前に出展しました。∞KON ROOMは、2021年1月に開設された金剛地域の魅力向上拠点。コワーキングスペースや会議室などを備え、中高生の勉強場所やフラット立ち寄れる場所として運営されています。当日は雨の降る中ではありますが、ほとんどの方が事前の告知を見てこられ



ました。通りがかりの皆さんにも、新庁舎建設プロジェクトを知っていただく機会になりました。今回は市民交流スペースでの活動アイデアにどきどき、市内の市民団体をマッチングする仕組みの提案や、情報発信拠点としての市役所への期待、さらには敷地内にとどまらず、寺内町など周辺エリアとの接続を考えた提案にして欲しいなどの要望をいただきました。また、前回に引き続き、すばるホールへの一部本移転についても、さまざまなお意見が寄せられました。皆さんからのご意見を踏まえ、引き続き基本設計を進めてまいります。



富田林市
新庁舎建設
プロジェクト

【実施概要】

とき：2021年8月13日（金）
11:00～16:00 ところ：∞KON ROOM
来場者：18名（意見21件）

【意見収集方法】

市民の皆さんを対象に「あったらいいシート」に要望やアイデアの記入をお願いする。その他、新庁舎建設に関するヒアリングを実施する。

あつたらいいなシートに
 いただいた皆さんからの
 「新庁舎にあつたらいいな」
 を紹介します。

「市民交流」

- ・写真を撮っていたり、歴史を調べている人の発表の場（パネル展示）があるといいな。
- ・議場が開放できる形式になっているのか気になる。議員のための場所だけでなく、市民の活動のために使えるようにしてほしい。他市でも多目的利用の議場は増えているので、市民目線で検討してほしい。

- ・市役所の窓口に来た市民が寺内町や富田林市内の魅力スポットを知ることができ、少し触れることができることで、次に行ってみようと思える情報発信拠点のような場所があつたらいいな。
- ・おもしろい事をしようとしている人が、企業、交流、マッチングできるチャレンジできる場、仕組みがある場所があつたらいいな。
- ・市民がお買い物できる道の駅があつたらいいな。

「分庁舎案・すばるホール」

- ・提案されている産業部署の移転先は新市庁舎にしていたきたい。すばるホールは文化施設とし

「その他」

- ・市民がワンストップでできる窓口が欲しい。
- ・中央公民館は1ヶ月単位でしか予約できないので、2、3ヶ月前から予約できるようにしてほしい。
- ・市役所のあり方を街全体の視点から検討してほしい。寺内町とのつながりをどう作るか。国交省の「まちなかウォークアップ推進事業」などを活用してほしい。
- ・外構（植木など）の整備に手間がかからないようにしてほしい。落ち葉の掃除は大変なので、芝生程度が良いのでは。
- ・金剛地域の住民としては金剛連絡所のホールが使えるなくなると市との距離感を感じる。

- ・市民の活動の場として今後も大切にしていただきたい。
- ・すばるホールに市庁舎機能が移ると使える場所が減少する。
- ・分庁舎方式はやめてほしい。元の計画に戻してほしい。
- ・昨年11月段階の基本設計に戻して、それを前提にしたコンパクト化を目指すべき。
- ・すばるホールへの移転は、利用者からしたら犠牲にされたと思わざるを得ない。

たくさんのご意見、ご提案ありがとうございます。ご意見をもとに、現在進めている設計案の検討を進めてまいります。サテライト設計室は今後、場所を変え、市内を巡回しながら実施していきます。みなさまからの積極的なご意見をお待ちしています。



富田林市
 新庁舎建設
 プロジェクト

富田林市本庁舎は、耐震性能の不足や設備の老朽化等、様々な問題を抱えています。平成28年4月に発生した熊本地震では庁舎が被災し、行政機能に支障をきたす事態になったことから、本市では平成29年度に行いました市庁舎耐震化構想業務において市庁舎耐震調査を実施し、これをまとめた「富田林市庁舎耐震調査業務調査報告書」で庁舎北館の耐震性能が確保されていないことを再確認しました。

これらの課題の改善策を検討するため、平成30年度に「富田林市庁舎耐震化庁内検討会議」を設置し、「富田林市庁舎耐震化庁内検討会議報告書」をまとめました。さらに、令和2年度には耐震化を含めた新庁舎建設の基本計画となる「富田林市庁舎整備基本計画」を策定し、現在は新庁舎の設計に取り組んでおります。